

南丹市教育委員会会議録

平成 29 年第 8 回定例会

(平成 29 年 8 月 21 日)

平成29年南丹市教育委員会第8回定例会会議録

1. 日 時 平成29年8月21日(月)
開会 午前10時30分 閉会 午前11時50分
2. 場 所 南丹市役所2号棟 教育委員会会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 委員長 武田 義史
5. 出席委員 委員長 武田 義史
委員長職務代理 高屋 毅史
委 員 吉田 尋子
委 員 城戸 貴子
教育長 森 榮一
6. 欠席委員 な し
7. 事 務 局 教育次長 山内 晴貴
教育参事 後藤 昌則
教育総務課長 中川 勇夫
学校教育課長 山内 紀子
社会教育課長 寺田 成樹
8. 傍 聴 人 2 名

日程1 開会

委員長が平成29年南丹市教育委員会第8回定例会の開会を告げる。

日程2 会議録作成者の指名

委員長から会議録作成者に中川教育総務課長を指名する。

日程3 会議録の承認

日程4 報告事項

(1) 主な行事報告等

(教育長)

■ 7月27日、平成29年度夏季教職員研修inるり溪を開催した。

地域とともにある学校づくり、英語研修、野外活動研修、学校経営や教務運営等、学校組織運営に係る研修を行い、28日の午前中までかけて開催した。延べ参加人数は市内全教職員の半数110名が参加した。

同日、小学5年生を対象としたイングリッシュデイキャンプを並行して開催した。市内の5小学校から児童の参加があり、打ち解けあって楽しいキャンプ生活を最後まで送っていた。

■ 8月2日、南丹市育ち合う子らの集いを市内中学校ブロック4会場で開催した。障害の有無に関わらず、同じ地域の仲間として絆を深める機会となり、日頃からつながりあっている絆の形成を確かめあう集いという位置づけで開催し、4会場合わせて400名近い参加があった。

同日、文部科学省の委託事業である、学校現場における業務改善加速事業の取組のひとつとして、学校職場環境南丹市モデル構築キックオフ研修会を開催した。

管理職のみならず事務職員の参加もあって、学校現場における業務改善の必要性や意義、具体的な取組事例について、文部科学省の業務改善アドバイザーである妹尾昌俊氏から学ぶことができ、市内の取組に生かせる研修機会となった。

■ 8月4日、南丹市人権教育講座第2講を南丹市日吉町生涯学習センターにて開催した。映画「あん」の鑑賞を行い、ハンセン病に関わる厳しい差別的な状況をはねのけ生き抜いた主人公の半生をテーマに、「生きる意味」という観点で映画を通して学び合った。延べ180名の方のご参加があった。

■ 8月5日、市PTA連絡協議会による子育て講演会が南丹市国際交流会館において開催された。

スマホ時代における情報教育環境において、「親や子どもがどうむきあっていけばよいのか」ということで情報環境に専門的な講師を招いて講演会が開催され、約80名の参加があった。

■ 8月7日、南丹地区教科用図書採択協議会第2回採択協議会が開催された。

■ 8月8日、校園長会議を開催した。

学校業務改善加速事業に伴って、トップダウン型ではなく、ボトムアップ的に働きやすい職場環境づくりという観点を大切にしながら、職場ごとに工夫を凝らし取組を進めていくという方向性について共通理解を深め、取組の具体化を各校長に求めた。

合わせて、2学期以降の取組、来年度の教育課程編成に向けた事項等についての共通理解を図った。

■ 8月19日、平成29年度第7回南丹市子どもの主張大会を開催した。

12名の出場があり、各発表者、保護者、学校長を始め、多くの方に参加いただいた。

それぞれ出場した子ども達にとって作文を書くことと言葉、声に出して表現することの両面において成長のきっかけになったのではないかと考える。

(2) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告。

日程5 議事

議案第18号 平成30年度南丹市立中学校使用教科用図書の採択について。

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

[採決]

議案第18号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第19号 平成30年度南丹市立小学校使用教科用図書の採択について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

[採決]

議案第19号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第20号 平成30年度南丹市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

[採決]

議案第20号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第21号 平成30年度南丹市立小学校使用教科用図書（特別の教科道徳）の採択について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

[採決]

議案第21号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第22号 平成29年度南丹市一般会計補正予算に係る地方行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見聴取について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

(吉田委員)

小学校施設維持管理事業の概要に記載されている、「吊り天井」のある学校施設はあるか。

(事務局)

市内全小中学校に吊り天井の構造自体はないが、近年の地震の影響を受け、今までは各学校の管理の下、ヒビ等がないか目視で行っていた確認を、専門家を通して構造を確認する必要があるということで、点検・調査を行うものである。

(高屋職務代理)

児童福祉施設整備事業に関して、福祉事業かと思われるが予算の執行を教育委員会が行っているのか。

(事務局)

地方自治法の委任規程によって、市長部局より教育委員会に事務執行の委任を受けているので、福祉事業の関係予算ではあるが、教育委員会所管事業として行っている。

[採決]

議案第22号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

その他 南丹市スポーツ推進計画策定に向けた諮問について

(事務局)

上記報告について、別紙資料により説明。

日程6 その他

- (1) 後期学校等訪問日程について
- (2) 育ち合う子らの集いの実施状況について
- (3) いじめ防止等対策委員会について
- (4) 教育委員研修関連（10月～11月実施分）について
- (5) 小・中学校 運動会・体育祭の日程について
- (6) その他

(事務局)

上記報告について、資料により説明。

(高屋職務代理)

いじめ調査結果概要について、未調査数とはなにか。

(事務局)

全児童生徒が対象とはなっているが、不登校や何らかの理由で調査を行えなかった児童生徒の数値である。

(吉田委員)

認知件数としてあげられているのは、アンケートの総数から読み取れる数値のみなのか。

(事務局)

教員は子どもたちの生活の中にいじめがないか、家庭の状況や学校生活の中等、様々な場面にアンテナをはりながらアンケート調査のみならず観察調査、聞き取り調査等を行い、学校内で組織しているいじめ等対策委員会において情報収集を行い、その中で学校として、いじめとして把握したものが認知件数となっている。

[次回定例会について]

(委員長)

今後の日程について9月20日（水）午後3時30分から開催としたいがどうか。

(委員)

委員長から各委員一人一人に諮り、全員一致で同意する。

(午前11時50分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

南丹市教育委員会委員長

南丹市教育委員会委員長職務代理者

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会教育長

(会議録調製者)

南丹市教育委員会教育次長
